

WebVPN と Cisco ASA 8.x インポート VNC プラグインの併用

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[手順 1 : VNC Java プラグインの取得](#)

[手順 2 : VNC プラグインのインポート](#)

[手順 3 : VNC 接続パラメータの定義 \(任意 \)](#)

[手順 4 : VNC サーバへの接続](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、WebVPN で使用する Virtual Network Computing (VNC) プラグインをインポートする方法について説明します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、基本 WebVPN が設定されていることを確認します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ソフトウェア バージョン 8.0(2) および ASDM バージョン 6.0(2) が稼働する ASA 5510
- Windows 2003 Server (WebVPN 経由で VNC プラグインに接続するために使用)
- JRE 1.4.2_05-b04 がインストールされているクライアント デスクトップ
- TFTP サーバ (コマンド ライン経由でプラグインをインポートするために使用)

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

WebVPN を使用して VNC プラグインをインポートするには、次の手順を実行します。

1. [VNC Java プラグインを取得します](#)。
2. [VNC Java プラグインをインポートします](#)。
3. [VNC 接続パラメータを定義します \(任意\)](#)。
4. [VNC サーバに接続します](#)。

手順 1 : VNC Java プラグインの取得

VNC プラグインは、他のプラグインと同様に [Cisco Software Center](#) からダウンロードできます。VNC プラグインの詳細については、次の URL にアクセスして、参照してください。

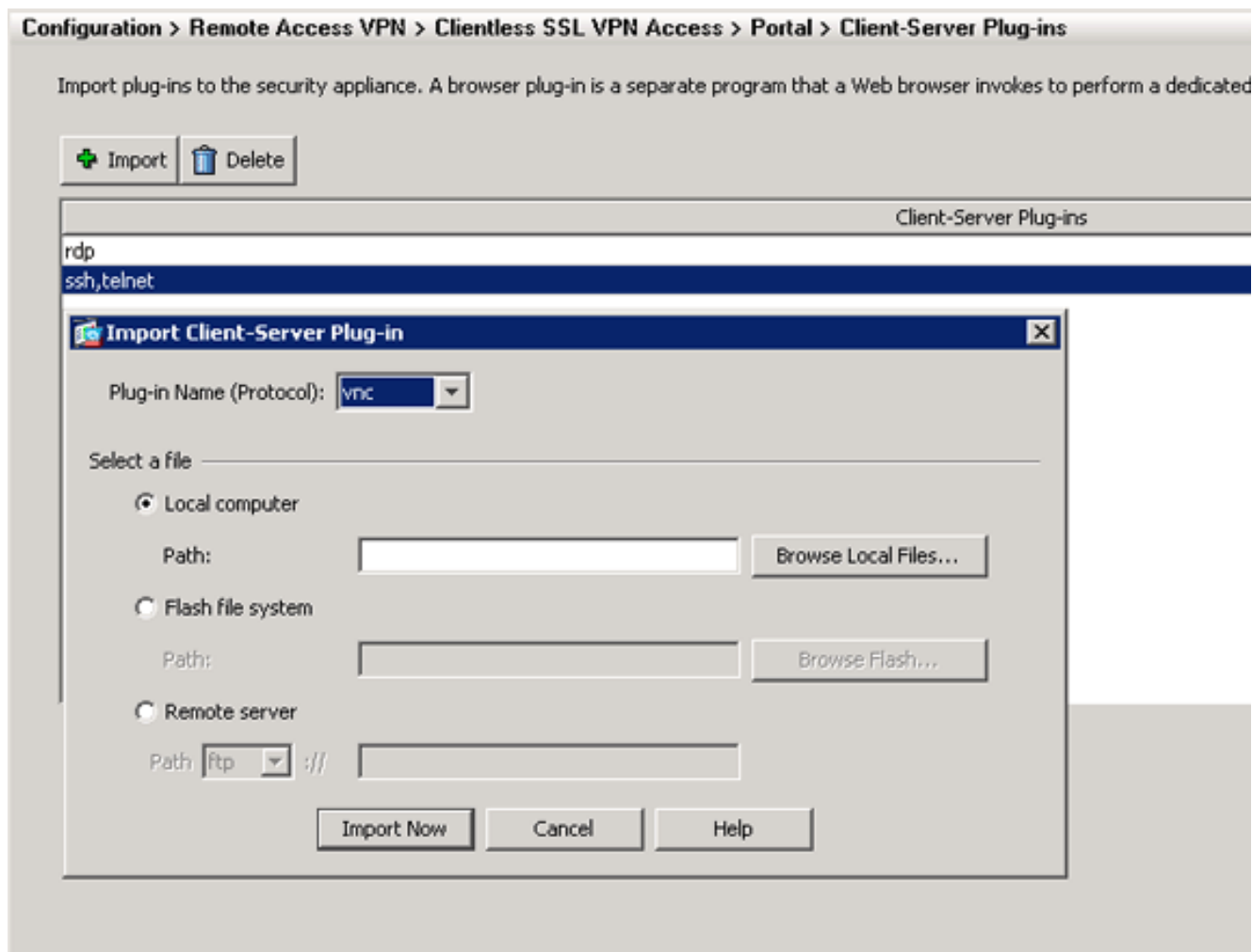
<http://www.tightvnc.com/>

注 : VNCのWebサイト(<http://www.tightvnc.com/>)は、サードパーティプロバイダーによって管理されます。Cisco では、そのコンテンツに関する責任を負いません。

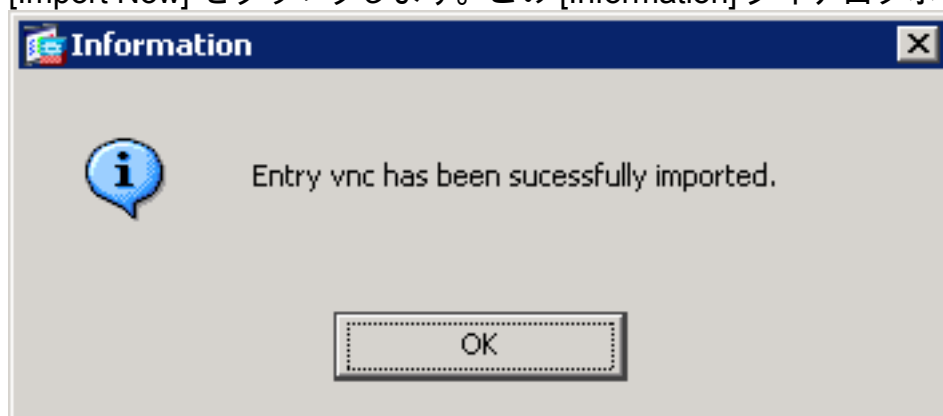
手順 2 : VNC プラグインのインポート

ASDM の例

1. ASDM アプリケーションで [Configuration] をクリックし、次に [Remote Access VPN] をクリックします。
2. [Clientless SSL VPN Access] を展開し、[Portal] を展開して、[Client-Server Plug-ins] をクリックします。
3. [Import] をクリックします。



4. [Plug-in Name (Protocol)] ドロップダウン リストから [vnc] を選択します。
5. [Local computer] オプション ボタンをクリックし、[Browse Local Files] をクリックします。
6. VNC プラグインを保存した場所を参照し、ファイルを選択します。
7. [Import Now] をクリックします。この [Information] ダイアログボックスが表示されます。



8. [OK] をクリックします。

コマンドラインの例

この例では、WebVPN プラグインをインポートするために TFTP が使用されます。

```
CiscoASA

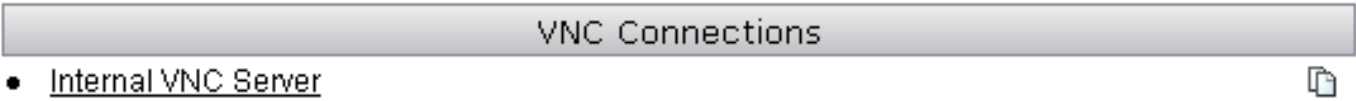
ciscoasa#import webvpn plug-in protocol vnc
tftp://192.168.50.5/vnc-plugin.jar

!--- Use the import webvpn plug-in protocol command in
```


		レス]フィールド に表示されるため 、このパラメータ は注意して使用し てください。代わ りに、コマンド プロンプトでパス ワードを入力する こともできます。
View Only	yes/no	キーボードおよび マウス イベント をリモート コン ピュータに送信し ます。次のいずれ かの値を入力しま す。 <ul style="list-style-type: none"> • no : デフォルト 値。 • yes : デスク トップウイ ンドウのすべ てのキーボ ードおよびマウ スイベント は無視され、 リモート側に 送信されませ ん。
Share Desktop	yes/no	同じ VNC サーバ 上の他のクライア ントとの接続を共 有します。正確な 動作はその都度、 サーバの設定によ って異なります。 使用できる値は「 yes」(デフォルト 値)と「no」 (いいえ)です。
port	番号	デフォルト以外の ポート番号を使用 する場合は、この パラメータでポー ト番号を定義しま す。ポート番号は 、URL の IP アド レスの直後に定義 します(たとえば 、 192.168.0.8:5600)。デフォルト

		の VNC ポートは 5900 です。
--	--	------------------------

注：VNCサーバのブックマークエントリでもVNC接続パラメータを使用できます。次の画像はVNCブックマークエントリの例を示しています。



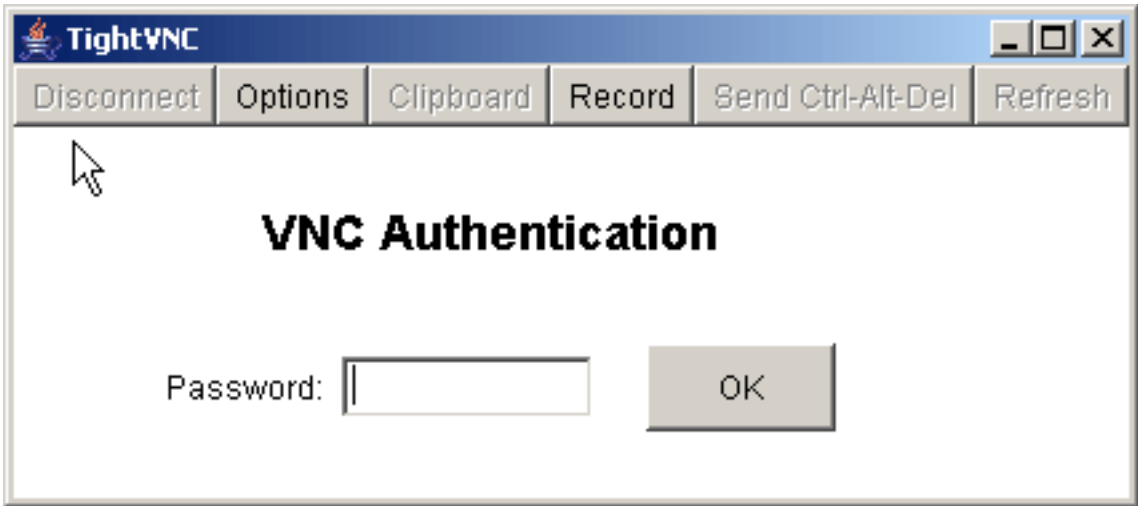
手順 4 : VNC サーバへの接続

VNC サーバに接続するには、次の手順を実行します。

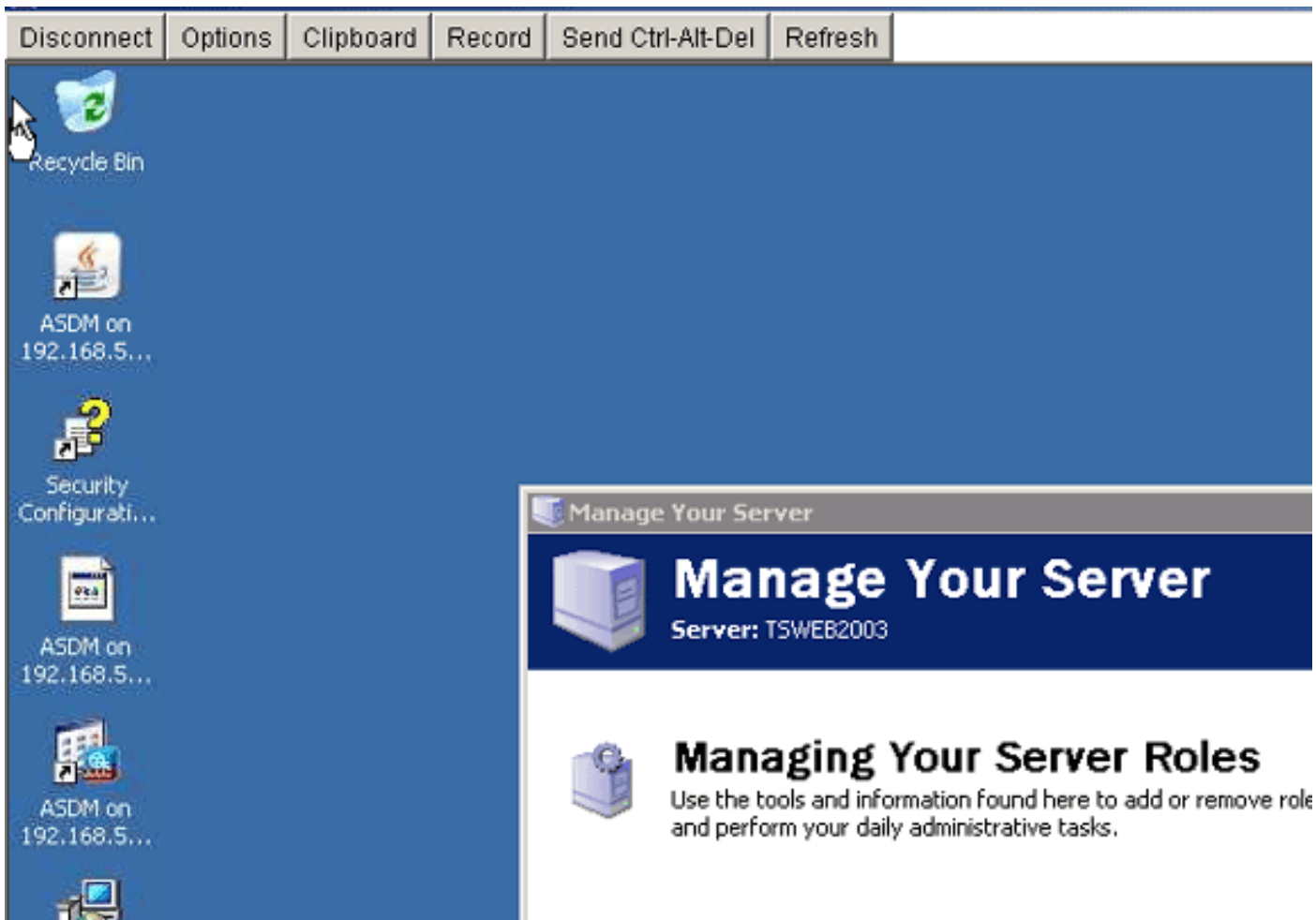
1. WebVPN セッションを確立し、[Address] ドロップダウン リストから [vnc://] を選択します。



2. VNC サーバの IP アドレスを入力し、[Browse] をクリックします。
3. VNC サーバで必要になるパスワードを入力します。



VNC セッションが新規ウィンドウに表示されます。



確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

- **show import webvpn plug-in** コマンドは、現在の WebVPN プラグインを表示します。vnc が、コマンドの出力にリストされていることを確認します。
- WebVPN に接続したときに、[Address] ドロップダウン リストの URI のオプションとして [vnc://] が選択できる必要があります。

[アウトプット インタープリタ ツール \(登録ユーザ専用\) \(OIT\)](#) は、特定の show コマンドをサポートします。show コマンドの出力の解析を表示するには、OIT を使用します。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

- **ブラウザ キャッシュのクリア**この手順では、ブラウザのキャッシュに現在格納されているすべてのファイルを削除します。Internet Explorer で、[Tools] > [Internet Options] を選択します。[Temporary Internet Files] セクションで、[General] タブをクリックし、[Delete Files] をクリックします。
- **JRE キャッシュのクリア**この手順では、Java キャッシュに現在格納されているすべてのファイルを削除します。Windows で、[Start] をクリックし、[Settings] > [Control Panel] をクリックします。[Control Panel] で、[Java Plug-in] をダブルクリックします。[Cache] タブをクリックして、次に [Clear] をクリックします。

- **JRE のアンインストールおよび再インストール**Windows で、[Start] をクリックし、[Settings] > [Control Panel] > [Add or Remove Programs] をクリックします。[Java Runtime Environment] プログラムを選択して、[Remove] をクリックします。Java の Web サイト (<http://www.java.com/en/download/>) から新しい JRE をダウンロードし、新しい JRE をインストールします。
- **VNC プラグインのアンインストール**WebVPN にログインしたとき、Address フィールドの URI として VNC オプションがリストされていない場合、VNC プラグインをアンインストールしてから再インストールします。WebVPN から VNC プラグインを削除するには、次のいずれかの手順を実行します。WebVPN : [Configuration] > [Remote Access VPN] > [Clientless SSL VPN Access] > [Portal] > [Client-Server Plug-ins] の順に選択し、VNC プラグインを選択して [Delete] をクリックします。CLI:revert webvpn plug-in vncコマンドを使用して、プラグインを削除します。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)